

4 学校関係者評価

- 無欠席の生徒や皆勤、精勤の生徒の比率が高いのはとても素晴らしいことだと思います。八代工業高校の誇るべき財産です。日頃から、卒業後、職業人としての基盤作りを丁寧に行っておられ、今後も継続して指導いただきたいと思います。
- 八代工業高校は就職でも結果を残され素晴らしい学校です。気になることは、後期選抜も定員割れだったことです。残念ですが、学校の良さが中学校の親に伝わっているのか？また、部活動の活躍、活性化が定員増につながると思います。外部指導者の導入も有効ではないでしょうか。
- 工業高校の生徒は企業に入っても仕事を投げ出さないイメージがあります。中学生が集まらないなら小学生を集めるものづくりができないか。学校のPRのため、1年を通じてすべての学科が取り組めたらと思います。
- 少子化とはいえ、定員割れの状況を見ると何らかの対策が必要だと思います。日本は技術立国だから技術を持った人材の育成が大事であり、その魅力をどう中学校の子供たちや保護者の皆さんに理解してもらうか、アプローチの仕方を今後工夫していくことが必要ではないでしょうか。
- 7割の生徒が無欠席であること、就職率100%、年間懲戒処分者が少ないことに驚きました。「学校を楽しんでいる」と答える生徒さんが多いアンケート結果から見てもそう思います。SCやSSWの導入も評価すべきことだと思います。
- 真摯な取り組みをされています。学校へ行くのが楽しい生徒が8割いるのは、ひとりひとりを捉えて教育されているからだだと思います。
- 特別支援教育の考え方を高校でも是非、今後は行っていただければ幸いです。困り感を持った生徒でも、支援の仕方一つで伸びる目をもっています。
- ジュニアマイスター等資格認定者の増加に向けて、今後ともよろしく願います。高校卒業後は就職を目指す生徒諸君にとっては、大変自信となって就職活動にも臨めると思います。

5 総合評価

- 学校目標や重点目標については、年度当初に職員に周知している。生徒へは始業式や終業式、保護者にはPTA総会や各学年PTAで話をしており、概ね浸透している。さらに認知度を上げるため、あらゆる機会に周知を図る。
- 学力向上については、授業が分かりにくいとアンケートで答えている生徒の割合は24%となり昨年度より減少した。さらなる減少のためには、分かりやすい授業を工夫するとともに、補習等による個別の支援が必要と思われる。
- 資格取得については、各科とも熱心に取り組んだが、ジュニアマイスターの取得者は昨年度を下回った。次年度はまた100名を上回るよう課外体制の再考とともに、課外の効率化と生徒の資格取得への意欲向上を図る必要がある。
- 校内環境美化については、保護者、生徒ともよく整備されていると感じている。しかし、ゴミの分別と軽減については微増となってしまった。また、場所によっては掃除が行き届いていないという指摘もあり、ゴミの資源化の徹底と環境美化意識を高める必要がある。
- 進路指導については、本年度も就職内定100%を達成し大手企業にも多数内定した。進学においては国公立大学に5名が合格を果たした。しかし、公務員の合格者は昨年度を下回った。
- 部活動においては、運動部では、陸上部、水泳部、卓球部が全国大会に出場し、水泳部、空手道部、弓道部、ソフトボール部が九州大会に出場した。男子バレーボール部が県ベスト4入りを果たし、その他の運動部も県ベスト8に入る力をつけてきている。
- 生活指導面においては、生徒たちは全体的に落ち着いており、服装、髪型もきちんとしている。ほとんどの生徒が自ら挨拶ができ、挨拶の声も大きい。
- 昨年度からSSWが本校に配置され、相談件数は年々増えてきている。また、本年度からSCが配置されたことで、個別の対抗は昨年度よりできている。

6 次年度への課題・改善方策

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| ① 学力の向上 | ○ 各教科の授業研究の更なる充実 | ○ 朝課外の内容充実 |
| ② 資格取得の取り組み | ○ ジュニアマイスター取得増加に向け、各科が連携した指導体制の確立 | |
| ③ 地域との連携と啓発 | ○ ホームページの充実 | ○ 学校案内パンフレットの充実 |
| | ○ 中学生や地域住民を対象とした「ものづくり教室」等の充実 | ○ 年間を通じた計画的な広報誌の発行 |
| ④ 進路指導体制の強化 | ○ 就職・進学・公務員の指導体制の強化 | ○ 企業との連携強化、進路講話等の計画的実施 |
| | ○ 家庭や関係部署との連携強化 | ○ 国立大学と公務員受験対策並びに組織化 |
| ⑤ 校内組織の充実 | ○ 人権教育指導体制の充実 | ○ 特別支援教育体制の組織強化(職員研修と関係機関との連携) |
| ⑥ 交通安全教育の徹底 | ○ 自転車の交通マナーの徹底 | ○ 保護者会での交通安全についての啓発 |